

LINE、送信メッセージを時間限定で取り消しできる「送信取消」機能を12月以降に実装 実装に先駆け、誤送信の思い出を精算する『#LINE誤爆 Black FRIDAY』キャンペーンを 本日より開始

2017.11.16 ALL

間違ってしまったLINEを消せない時代が終わる前に、誤送信の体験談をみんなで笑い飛ばそう

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」 <https://line.me/ja/> にて、2017年12月以降に送信したメッセージを時間限定で取り消しできる「送信取消」機能を実装する運びとなりましたことをお知らせいたします。

また、実装に先駆け、LINEを誤送信した体験談をユーザーの皆様から募集する『#LINE誤爆 Black FRIDAY』キャンペーンを本日から開始しましたので、ご案内いたします。

キャンペーンサイト <https://campaign.line.me/bf/>

Twitter https://twitter.com/LINEjp_official



イラスト / ニシクボサユリ

LINEでは、ユーザビリティの向上及びコミュニケーションの選択肢を拡大させるための機能拡充の一環として、12月以降に「送信取消」機能を実装する運びとなりました。送信取消の対象となるメッセージは、機能提供開始時は24時間以内に送信したメッセージとする予定で、以降ユーザーの皆様からの反応を見ながら検討してまいります。なお、「送信取消」機能の詳細については、実装時にお知らせいたします。

この「送信取消」機能の実装の前に、11月16日（木）から11月24日（金）の期間、『#LINE誤爆 Black FRIDAY』キャンペーンを開催します。『#LINE誤爆 Black FRIDAY』キャンペーンは、LINEを誤送信した体験談（黒歴史）をユーザーの皆様から募集し、LINEの黒歴史のトップである『Best of #LINE誤爆』をみんなで決定するオンライン上のお祭りです。リツイート投票日程は、ブラックフライデー当日である11月24日（金）で、ブラックフライデーの開催時間と「送信取消」機能のメッセージ取消時間にちなみ、24時間限定とします。

間違ってしまったLINEを消すことができない時代の幕が降りる前に、LINEにまつわる黒歴史を共有し、これまでの甘くほろ苦い誤送信の思い出を懐かしみつつ、みんなで笑って苦い思い出を精算しましょう。秀逸なエピソードを投稿した方には、なにが入っているかお楽しみの特製ブラックボックスやLINEポイント（1万円相当）をプレゼントいたします。また、リツイート投票に参加した方にもLINEギフトコード（1,000円分）のプレゼントのチャンスがあります。

今回が最初で最後となる『LINE Black FRIDAY』キャンペーンに是非、この機会にご参加ください。

■『#LINE誤爆 Black FRIDAY』キャンペーン概要

【実施場所】 キャンペーンサイト <https://campaign.line.me/bf/>

Twitter https://twitter.com/LINEjp_official

【実施期間】 2017年11月16日（木）～11月24日（金）

【実施概要】

①LINE TimelineとTwitterで、LINEでの苦い思い出をキャプチャーもしくはテキストにハッシュタグ「#LINE誤爆」をつけた投稿を募集する。

②募集作品の中から、LINE選考委員会に選ばれた優秀作品20作品が、11月24日（金）10時30分にキャンペーンサイト内の黒歴史の殿堂「BLACK SHOWROOM」に掲載される。

③11月24日（金）10時30分～11月25日（土）10時29分の期間、LINEの公式Twitterアカウント(@LINEjp_official)がつぶやく優秀作品5作品のツイートに対し、24時間限定リツイート投票を募る。

【プレゼント】

BEST!



NOMINEES



MORE!



- ・「Best of #LINE誤爆」に選ばれた方（1名）には、特製サプライズ ブラックボックスをプレゼントいたします。
- ・優秀作品に選ばれた方（20名）には、LINEポイント1万ポイントを進呈いたします。
- ・リツイートで投票してくれた方の中から抽選で選ばれた方（100名）には、LINEギフトコード1,000円分をプレゼントいたします。

【BLACK SHOWROOM展示内容】

BLACK SHOWROOMには、『#LINE誤爆 Black FRIDAY』キャンペーン開始時、黒歴史の実例を掲載しています。ぜひ、ご注目ください。

【参考資料】

LINEは、「送信取消」機能実装と『LINE Black FRIDAY』キャンペーン開催を発表するにあたり、LINEの誤爆に関する動向を把握するため、インターネット調査を実施いたしましたので、その結果をお知らせいたします。

【調査概要】

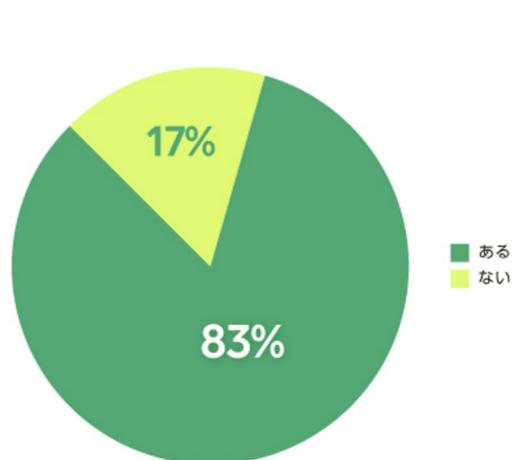
調査方法：LINE公式アカウント「LINEチーム」 Research Platformを利用した、スマートフォンによるモバイルアンケート

調査対象：LINEユーザー男女

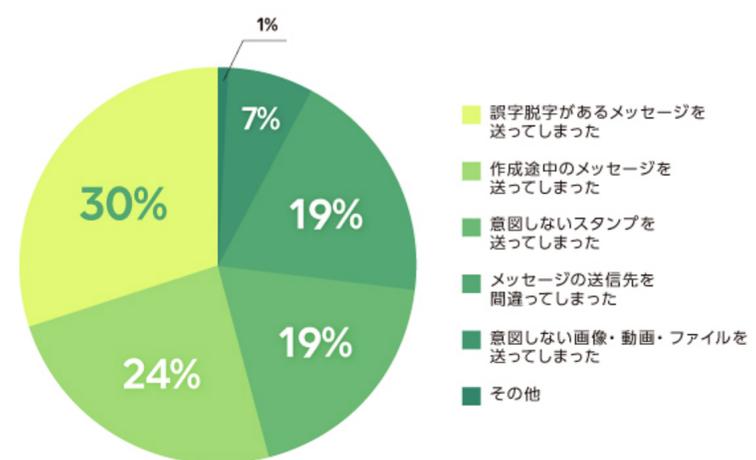
最終有効回答数：8,577サンプル

調査期間：2017年11月10日～12日

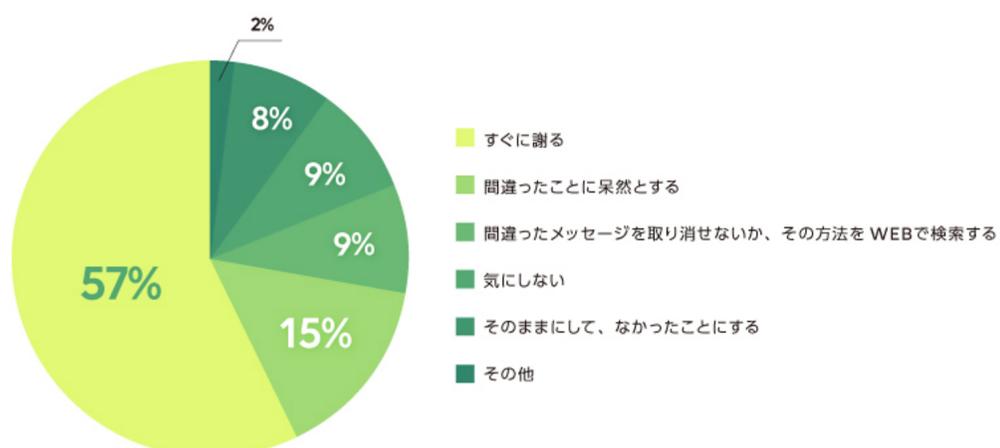
Q1. LINEで誤ってメッセージを送信したことがありますか？



Q2. LINEで誤ってメッセージを送信してしまった内容は次のうち、どれですか？



Q3. LINEで誤ってメッセージを送信したことに気づいた際、どのような行動をとりますか？



「LINEで誤ってメッセージを送信した経験」について聞いたところ、LINEで誤送信した経験がある方は約85%もいる結果となりました。また、「LINEでどのように誤ってメッセージを送りましたか？」という問いに対しては、「誤字脱字があるメッセージを送ってしまった」の回答がトップとなりました。

また、「LINEでメッセージを送信したことに気づいた際、どのような行動をとりますか？」の問いに対しては「すぐ謝る」と回答した方が57%と過半数を超え、続いて「間違ったことに呆然とする」の回答が15%の結果となりました。

なお、「その他」を選択した方の中には、「正しいメッセージを送りなおす」「スタンプを打ってごまかす」「自分で突っ込んでギャグにする」「とりあえず笑う」「とりあえず自分の方だけメッセージを消す」という回答も見られました。

© LY Corporation